

# 令和9年度入学者向け 京都工芸繊維大学 ダビンチ入試(総合型選抜) 学生募集要項

---

Kyoto Institute of Technology, 2027

## 工芸科学部

応用生物学域	—————	応用生物学課程
物質・材料科学域	—————	応用化学課程
設計工学域	—————	電子システム工学課程 情報工学課程 機械工学課程
デザイン科学域	—————	デザイン・建築学課程



京都工芸繊維大学  
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

# 目次

1. 募集人員	1
2. 試験日程	2
3. 出願資格	3
4. 出願要件	5
5. 出願手続	5
(1) 出願書類	5
(2) 検定料	7
(3) 出願期間及び出願先	7
(4) 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について	7
(5) 出願状況の情報提供	7
● 出願についての注意	8
6. アドミッションポリシー	9
7. 入学者選抜方法等	11
(1) 実施日	11
(2) 試験場	11
(3) 入学者選抜方法	11
● 受験についての注意	12
8. 合格者発表	13
9. 入学手続	13
10. 入学に要する諸経費	13
11. ダビンチ カレッジ・レディネス プログラム（入学前教育）	14
12. 取得できる資格等	14
13. 入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予	14
14. 奨学金制度	15
15. アルバイト紹介	16
16. 学習用ノートパソコンの必携について	16
17. 住まい	16
18. 学部・学域・課程紹介	16
19. 地域創生 Tech Program について	17
20. 過去のダビンチ入試（総合型選抜）の実施状況	17

■ 令和9年度（令和8年度実施）工芸科学部1年次学生募集人員

■ 出願様式

志望理由書、履歴書

※入学願書、受験票、宛名ラベル（大学送付用）の様式見本は別途掲載します。

■ 試験場（京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス）への案内

# 令和9年度

## 京都工芸繊維大学ダビンチ入試（総合型選抜）学生募集要項

### 1. 募集人員

#### 工芸科学部

学 域	課 程		募 集 人 員				
			一般プログラム		地域創生 Tech Program		
			【一般】	【グローバル】	【一般】	【地域】	【社会人】
応用生物 学域	応 用 生 物 学 課 程		7	1	1		若干名
物質・材料 科学域	応 用 化 学 課 程		6	3	2		若干名
設計工学域	電子システム工学課程		5	1	2		若干名
	情 報 工 学 課 程		5	1	2		若干名
	機 械 工 学 課 程		4	1	2		若干名
デザイン 科学域	デザイン・ 建築学課程	建築 コース	15	2	3	1	若干名
		デザイン コース	9	1	1	1	若干名
合 計			51	10	合わせて15		

注1 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

注2 ダビンチ入試（総合型選抜）で募集する一般プログラムの【一般】（又は【グローバル】）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を【グローバル】（又は【一般】）に加えます。

注3 ダビンチ入試（総合型選抜）で募集する地域創生 Tech Program は、デザイン・建築学課程を除き、【一般】と【地域】合わせて募集します。また、【社会人】の募集人員（若干名）は、地域創生 Tech Program の各課程の募集人員に含まれます。

注4 ダビンチ入試（総合型選抜）で募集する地域創生 Tech Program のデザイン・建築学課程では、【一般】（又は【地域】）の合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員を【地域】（又は【一般】）に加えます。

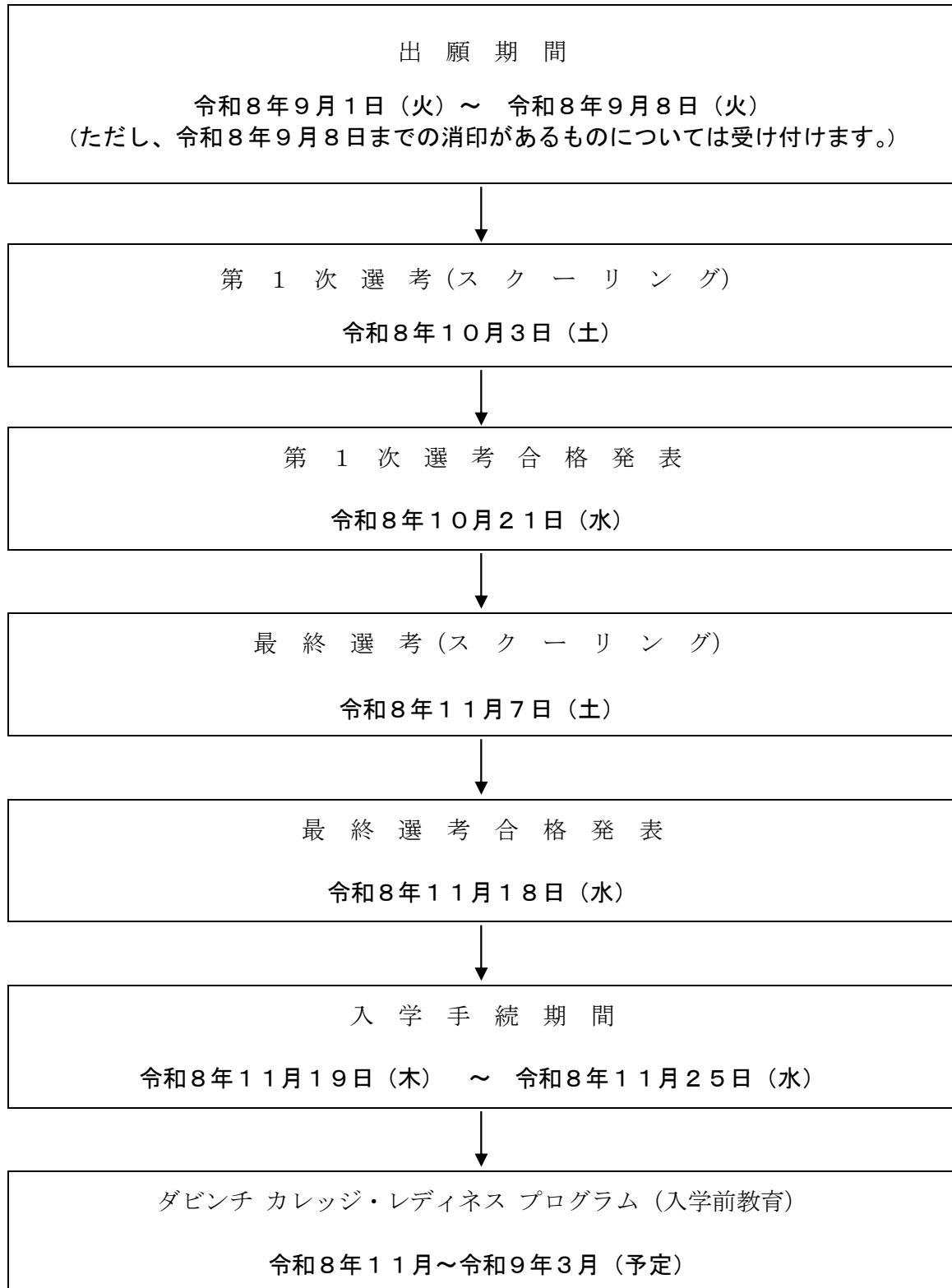
注5 インターネット出願システム登録後は、プログラム、募集区分及び志望課程・コースを変更することはできません。なお、本学入学後、地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに3年次編入学することもできません。

注6 地域創生 Tech Program は昼間コースです。募集区分【社会人】の入学者であっても、昼間（8:50～17:40）に授業を行いますので、十分注意の上、出願してください。

注7 工芸科学部全体の募集人員及び募集人員の取り扱いについては、巻末「令和9年度工芸科学部1年次学生募集人員」をご確認ください。

## 2. 試験日程

### 令和9年度 ダビンチ入試（総合型選抜）日程概要



### 3. 出願資格

#### (1) 一般プログラム【一般】、及び地域創生 Tech Program【一般】

次のAからJのいずれかに該当する人です。

- A 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和9年3月31日までに卒業見込の人
- B 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込の人
- C 外国において学校教育における12年の課程を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込の人又はこれらに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- D 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込の人
- E 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込の人
- F 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を有した人及び令和9年3月31日までに資格を有する見込みの人
- G 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込みの人
- H 文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号第1号～第19号）
- I 高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込の人
- J 本学において、下記の「個別の入学資格審査」により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、平成21年4月1日までに生まれた人

#### 出願資格Jに係る個別の入学資格審査の申請について (出願資格J以外で出願する人は不要です。)

1. 個別の入学資格審査の申請を行うことができる人  
学校教育法施行規則第150条第7号の個別の入学資格審査を受けようとする人で、本学に入学する意思があり、入学年度の前年度末までに18歳に達している人。
2. 提出書類  
(1) 入学資格審査申請書 (2) 経歴書 (3) 出身学校等の卒業（見込）証明書  
(4) 出身学校等における学習歴を証明する書類 (5) 出身学校等の学則 (6) 出身学校等の教育課程表  
(7) 社会での実務経験や取得した資格等を証明する書類  
(8) 返信用封筒（長形3号の封筒に、760円分の切手を貼り、申請者のあて先・氏名を明記すること）
3. 審査体制  
本学において、提出書類に基づき適正に審査を行う。  
審査にあたっては、専修学校や各種学校等における学習歴や、大学の科目履修生としての単位取得などの個人の学習歴、あるいは、社会における実務経験や取得した資格等に基づき総合的に判断する。
4. 提出方法  
持参又は簡易書留速達郵便により、封筒に「入学資格審査書類在中」と朱書き郵送すること。
5. 入学資格審査申請期間  
令和8年6月26日（金）から令和8年7月24日（金）（17時必着）
6. 審査結果  
令和8年9月1日（火）までに本人宛郵便により通知します。
7. 本件に関する問合せ先及び書類提出先  
巻末問合せ先参照

#### (2) 一般プログラム【グローバル】

次のAからCのすべてに該当する者

- A スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma（以下「IB」という））を令和7年4月1日から令和9年3月31日までの間に取得した者、又は取得見込の者

- B** 国際バカロレア (IB) 資格証書 (DP フルディプロマ) の写し及び最終試験の成績評価証明書を提出できる者 (令和 9 年 1 月に資格を取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する最終成績の予測スコアの証明書を提出すること。出願時に IB 資格を取得見込みでない者は出願できない)
- C** 国際バカロレア資格の取得において、次の①から③すべてに該当する者
- ① 日本語を母語とする者、日本語 A を履修した者、又は日本語 B (HL) 若しくは日本語 B (SL) を履修し、成績評価が 5 以上 (HL) 若しくは 6 以上 (SL) の者
  - ② 英語 A を履修した者、又は英語 B (HL) 若しくは英語 B (SL) を履修し、成績評価が 4 以上 (HL) 若しくは 5 以上 (SL) の者
  - ③ 国際バカロレア資格取得において、本学の指定する次表 (表 1) の科目を履修し、その科目の成績評価が 5 以上の者

表 1 本学の指定する履修科目・履修レベルについて

課 程	指定する科目・履修レベル
応用生物学課程	数学 (「analysis and approaches」)、それ以外に生物又は化学の 1 科目 上記の科目は HL とする
応用化学課程	数学 (「analysis and approaches」)、それ以外に化学又は物理の 1 科目 上記の科目は HL とする
電子システム工学課程	数学 (「analysis and approaches」) 及び物理 上記の科目は HL とする
情報工学課程	数学 (「analysis and approaches」)、それ以外に物理又はコンピュータ・サイエンスの 1 科目 上記の科目は HL とする
機械工学課程	数学 (「analysis and approaches」) 及び物理 上記の科目は HL とする
デザイン・建築学課程	数学、それ以外にデザインテクノロジー又は美術の 1 科目 デザインテクノロジーあるいは美術は HL とする

※ スコアは、IB フルディプロマのスコアもしくは IB Predicted Grades を指す。

### (3) 地域創生 Tech Program 【地域】

次の A 又は B に該当する人

- A** 出願時に、京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置く高等学校を令和 9 年 3 月 31 日までに卒業見込の人
- B** 京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置いていた高等学校を卒業した人

#### (4) 地域創生 Tech Program【社会人】

次のAからFのいずれかに該当する人のうち、平成16年4月1日までに生まれた人又は令和9年3月31日時点で職務経歴2年以上を有する平成18年4月1日までに生まれた人とします。ただし、職業訓練期間は、職務経歴の期間に含みません。

- A 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和9年3月31日までに卒業見込の人
- B 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込の人
- C 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込の人
- D 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込の人
- E 文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号第1号～第19号）
- F 高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込の人

#### 4. 出願要件

ダビンチ入試（総合型選抜）については、合格した場合本学への入学を確約できる方を対象としています。

#### 5. 出願手続（インターネット出願）

出願期間内に、次のとおり手続を行ってください。

本学のインターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にアクセスし、志願者情報を入力したのち、入力内容が正しいことを十分に確認したうえで、画面の指示に従って検定料を支払ってください。

支払い方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM（ペイジー）より選択可能です。詳細は、7ページ「(2) 検定料」を参照してください。なお、検定料支払が完了すると①入学願書及び⑦宛名ラベルを印刷できるようになります。

入学願書を印刷後、市販の封筒（角形2号が望ましい）に下記①、②、③又は④及び該当者は⑤、⑥を一括して封入のうえ、⑦を封筒に貼付し、郵便局で「簡易書留・速達」郵便の手続をする等、配達記録が残る方法により送付してください。直接持参しても受け付けません。インターネット出願システムに登録しただけでは受け付けません。必ず出願書類を郵送で提出してください。

##### (1) 出願書類

###### ① 入学願書

インターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にて所定の事項を入力し、出願者の**写真（要件：無加工かつ上半身、脱帽、正面向き、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）**をアップロードしてください。その後、検定料の支払手続を行い、入学願書を印刷してください。

※同時に印刷される受験票については、試験当日に持参してください。郵送されても、返送しません。なお、誤って送付した場合又は紛失した場合は再度印刷してください。

###### ② 志望理由書

本学ホームページ ([https://www.kit.ac.jp/test\\_index/school\\_news/undergraduate/type\\_ao/](https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/undergraduate/type_ao/)) より様式をダウンロードし、巻末の「志望理由書作成要領」に従って、志願者自身が作成してください。

###### ③ 調査書

文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、出願期間中に最終学年前期の学習成績が出されていない場合は、判明している学期までの学習成績が記入されている調査書を提出してください。

\*卒業後5年を経過した場合は「卒業証明書」と「単位修得証明書」を、卒業後20年を経過した場合は「卒業証明書」を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）合格者は、「合格成績証明書」をもって調査書に代えることができます。ただし、試験科目の一部に免除された科目がある場合は、その科目にかかる高等学校等の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。

④ 出願資格の証明書類（該当者のみ）

以下の出願資格に該当する出願者は、出願資格の区分に従って、③の調査書に代えて次の証明書等を提出してください。英語以外の外国語で作成されている場合は、日本語又は英語訳も添付してください。科目名や成績評価が符号や略号で表されている場合は、その説明書を日本語又は英語で添付してください。※該当する提出書類が不明の場合は、巻末問合せ先に相談してください。

出願資格(1)のCに該当する場合

- i. 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書
- ii. 成績証明書（グレードスケールが明記されたもの）
- iii. 日本の高等学校に在学していたことがある人は、その高等学校の調査書
- iv. インターナショナルスクール及びこれに準ずる学校の出身者は、所在国において学校教育の正規課程として認定されていることを証明する書類

出願資格(1)のD、F、G、H、出願資格(4)のC、いずれかに該当する場合

- i. 大学入学資格を取得したことを示す証明書又は取得見込であることを示す証明書（例：国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書）のコピー
- ii. 大学入学資格を取得したことを示す資格試験の成績証明書

出願資格(2)に該当する場合

- i. 国際バカロレア(IB)資格証書（DP フルディプロマ）の写し
- ii. 最終試験の成績評価証明書（令和 9 年 1 月に資格を取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する最終成績の予測スコアの証明書）

⑤ 授業料免除申請書類（該当する希望者のみ） →14 ページ参照

授業料免除を希望する外国人留学生（在留資格が「留学」の人及び入学時まで「留学」の在留資格を取得する人）のうち、次のいずれかに該当する人は、授業料免除申請書類を併せて提出してください。なお、下記以外の人は、入学手続後に申請を受け付けます。

- i. 私費外国人留学生
- ii. 出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定がある人も含まれます。）

⑥ 履歴書（外国の学校出身者及び地域創生 Tech Program【社会人】に出願する場合のみ）

本学ホームページ ([https://www.kit.ac.jp/test\\_index/school\\_news/undergraduate/type\\_ao/](https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/undergraduate/type_ao/)) より様式をダウンロードし、巻末の「履歴書作成要領」に従って、志願者自身が作成してください。

⑦ 宛名ラベル（大学送付用）

インターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを、願書等を本学に郵送する封筒に貼付して、使用してください。

注 1. 必要な場合は、証明書等の追加提出を指示することがあります。

注 2. 出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び今後の入学者選抜に係る調査・研究にのみ使用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

注 3. 入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考にのみ使用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人成績を提供します。

注 4. （願書発送前）印刷した願書に誤りを見つけた場合、次のとおり修正または連絡してください。（願書発送後）誤った項目に関わらず巻末問い合わせ先までご連絡ください。

誤った項目	必要な手続き
性別、生年月日、高校での所属課程・学科、卒業年月（資格取得年月）、資格区分、電話番号、現住所（郵便番号・番地等）	願書に赤字（消えないボールペン等）で手書き修正後、他の出願書類と併せて本学へ郵送 ※訂正印は不要です
志望課程・コース、募集区分、その他の項目	本学へ連絡（巻末問い合わせ先）

## (2) 検定料

17,000 円

支払い方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM（ペイジー）より選択可能です。インターネット出願システムに表示される指示に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払いには別途手数料がかかります。

注 1. 国費外国人留学生で奨学金支給期間延長の申請予定者は、検定料の支払いは不要です。その場合、国費外国人留学生であることを証明する書類の提出が必要ですので、出願前に巻末問合せ先に申し出てください。

注 2. 出願期間の概ね1年以内に大規模な風水害等により被害を受けた人、及び平成23年3月に発生した東日本大震災により被災した人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を支払う前のできるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

## (3) 出願期間及び出願先

### ① 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類受理期間）

「簡易書留・速達」郵便等、配達記録が残る方法により送付し、次の期間に本学に届くことが必要です。

出願期間	令和 8 年 9 月 1 日（火）から令和 8 年 9 月 8 日（火）（日本時間）
------	--

ただし、令和 8 年 9 月 8 日（火）までの消印（日本国内）があるものについては受け付けます。なお、海外から出願を検討している人は、出来るだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

### ② 出願先

巻末書類提出先参照

## (4) 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上の配慮を必要とする人は、以下により受験上の配慮申請書を提出してください。

なお、期限後に不慮の事故等により受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにメール・電話等により相談してください。

### ① 申請期限

原則として、令和 8 年 8 月 10 日（月）まで

### ② 申請方法および提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（<https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html>）をご確認ください。

なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者など）との面談等を行います。

### ③ 提出先

巻末問合せ先参照

※なお修学上の配慮については、事前にアクセシビリティコミュニケーション支援センターにご相談ください。

問い合わせ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考 URL：https://www.kit.ac.jp/edu\_index/accessibility\_ccs/

## (5) 出願状況の情報提供

出願期間中の出願状況については、学部入試最新情報ページ（巻末問合せ先参照）において随時公表します。

● 出願についての注意

- ① 次の場合は、出願書類を受理しません。
  - ア. インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合
  - イ. 出願書類がそろっていない場合
  - ウ. 出願書類の記載が不完全な場合
  - エ. 検定料が支払われていない場合
- ② インターネット出願システム登録後は、プログラム、募集区分及び志望課程・コースの変更は認めません。
- ③ 出願を受理したのちは、出願書類はいかなる理由があっても返還しません。また、支払済みの検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。
  - ア. 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった）場合
  - イ. 検定料を誤って二重に支払った場合

\*検定料返還請求の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。なお、返還時の振込手数料は受取人負担となります。
- ④ 出願書類に虚偽の記載があった場合、また顔写真の要件を満たしていない場合は、不正行為とし試験の結果を無効にすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 外国人の方は、入学時まで次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。
  - ア. 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）の別表第1に定める「留学」
  - イ. 上記の「留学」以外の在留資格で、大学入学に支障のない在留資格

《注》

1. ダビンチ入試（総合型選抜）合格者は国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード（大学入学共通テスト受験者はその受験番号を含む）に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターに送達されます。

## 6. アドミッションポリシー

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接試験により、説明能力、理解力、論理的思考力、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然に対する敬愛</li> <li>・総合的な学習能力、柔軟な発想、論理的な思考力</li> <li>・自然界のさまざまな事柄について、生物学だけでなく多面的、論理的に思考できる、積極的かつ創造的な人</li> </ul>
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に付けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接・口頭試問により、基礎学力、目的意識、自主性、適性などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的、論理的思考力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力</li> <li>・自然科学を学ぶための基礎学力</li> <li>・化学に対する旺盛な好奇心</li> <li>・物質や材料さらには生体関連物質に対する好奇心・学習意欲</li> <li>・化学だけの一面的な視野にとらわれず、広い視野とソフトで多様な思考を持ち、課題に向かって情熱的に取り組む意欲</li> </ul>
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接・口頭試問により、説明能力、理解力、論理的思考力、発想の斬新性、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学、物理の基礎学力</li> <li>・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識</li> <li>・自然現象に対する好奇心と洞察力</li> <li>・チャレンジ精神と行動力</li> </ul>
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支える ICT 分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICT を活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、情報工学に関連する内容の講義に対するレポート作成により、基礎学力や論理的思考力、表現力を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめ上げる能力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な思考力や表現力、数学の基礎学力</li> <li>・好奇心、チャレンジ精神と行動力</li> <li>・人や社会への関心、および将来 ICT 分野でリーダーシップをとって活躍しようとする意欲</li> </ul>

(次のページに続く)

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
設計工学域	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に付けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、独創性、社会性、積極性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、機械工学に関連する課題を提示し、自らの力で観て、考えて、創造し、それを表現する力の素養と、論理的思考力、創造力、チャレンジ精神、数学、物理、英語等の基礎学力をプレゼンテーションにより評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力、基礎学力</li> <li>・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力</li> <li>・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力</li> </ul>
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、プレゼンテーション試験により自己の目的意識、創造力、独創性等を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、問題分析力、プレゼンテーション能力、独創性、意欲、リーダーシップ、協調性を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間や形態に関する数理的な理解力</li> <li>・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力</li> <li>・美や造形に対する関心と感受性</li> <li>・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力</li> <li>・コミュニケーション能力と協調性</li> <li>・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意</li> </ul>

一般プログラム【グローバル】及び地域創生 Tech Program では、上記の各課程のアドミッションポリシー（一般プログラム【一般】）に加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
一般プログラム【グローバル】	各課程の「人材育成の目標」と同じ。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を、国際バカロレアのスコアにより基礎知識、論理的思考力、探究スキル、課題発見・解決能力、英語によるコミュニケーション能力等を評価します。また、応用化学課程では、それらに加え、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を評価します。最終選考では、各課程における講義・レポート作成、面接試験、プレゼンテーション等により論理的思考力や表現力を総合的に評価して、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課程の「求める能力・適性」に加えて、各課程の専門を通して産業等のグローバル展開に貢献する意欲</li> <li>・科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力</li> <li>・英語によるコミュニケーション能力</li> </ul>
地域創生 Tech Program【一般】【地域】【社会人】	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を、志望する学域の講義・レポート作成により基礎知識、論理的思考力等を評価するとともに、地域課題レポート試験により地域社会等の課題に対する理解力、分析力、提案力を評価します。 最終選考では、各課程における講義・レポート作成、面接試験、プレゼンテーション等により論理的思考力や表現力を総合的に評価して、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心</li> </ul>

## 7. 入学者選抜方法等

### (1) 実施日

- ① 第1次選考  
令和8年10月3日（土）
- ② 最終選考  
令和8年11月7日（土）

### (2) 試験場（巻末の試験場への案内参照）

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地）

#### 《試験場来場にあたっての注意》

試験場へは公共交通機関又は徒歩にて来場してください。公共交通機関を利用する場合は、天候等も考慮し、時間に余裕をもって、早めに移動することを心がけてください。

なお、試験場及びその周辺には駐車、駐輪できる場所はありません。また、自動車、バイク、自転車での来場は、受験生及び近隣住民、本学関係者の通行にかかる安全面への配慮から、保護者等による送迎も含め禁止します。

### (3) 入学者選抜方法

大学入学共通テスト及び教科・科目型の学力試験を免除し、次の方法による選抜の結果、ならびに提出書類の内容を総合して判定します。

#### ① 第1次選考

第1次選考では提出された出願書類及びスクーリングにより選考を行います。

スクーリングの内容は次のとおりです。なお、スクーリングでは基礎的な学力を問うことがあります。

募集区分	プログラム	時間
一般プログラム【一般】 （「講義・レポート作成」は、募集区分に関わらず、学域毎に行います）	出願書類	—
	講義・レポート作成	9：20～
	課題提示・レポート作成	13：40～
一般プログラム【グローバル】	出願書類	—
	IBスコア	—
	講義・レポート作成（応用化学課程のみ）	9：20～
地域創生 Tech Program【一般】【地域】【社会人】	出願書類	—
	講義・レポート作成	9：20～
	地域課題レポート	13：40～

なお、出願書類は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、高等学校等における臨時休業等の実施の結果、出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、志願者が不利益を被ることがないような評価を行うとともに、個々の志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや本学を志願し、本学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価します。

② 最終選考

最終選考では課程ごとにスクーリングによる選考を行います。

スクーリングの内容は、一般プログラム【一般】【グローバル】、地域創生 Tech Program【一般】【地域】【社会人】共通で次のとおりです。なお、スクーリングでは基礎的な学力を問うことがあります。また、合否判定は、第1次選考と最終選考を総合的に評価します。

課程・募集区分等	プログラム
応用生物学課程	面接
応用化学課程	面接・口頭試問
電子システム工学課程	面接・口頭試問
情報工学課程	講義・レポート作成
	課題提示・グループディスカッション
機械工学課程	課題提示・プレゼンテーション
デザイン・建築学課程 (建築コース・ デザインコース)	プレゼンテーション
	課題提示・グループディスカッション

● 受験についての注意

- ① 第1次選考、最終選考それぞれの「試験当日の注意事項」を、学部入試最新情報ページ（巻末問合せ先参照）において試験実施日の1週間前をめぐりに掲載します。受験生は必ず「試験当日の注意事項」を読んでその指示に従ってください。
- ② **試験当日は「令和9年度京都工芸繊維大学ダビンチ入試（総合型選抜）受験票」をインターネット出願システムより印刷のうえ、持参し、監督者等の指示に従って提示してください。**持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合又は忘れた場合は試験場本部に申し出てください。
- ③ 受験生は、各プログラム開始15分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。当日の集合時刻は「試験当日の注意事項」でお知らせします。
- ④ 第1次選考では、試験開始後、20分以上遅刻して試験室に到着した場合、受験することができません。
- ⑤ 第1次選考では、指定のプログラムを1つでも受験しなかった場合、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑥ 試験当日は、「黒鉛筆又はシャープペンシル」及び「消しゴム」を持参してください。
- ⑦ 試験中は、受験票と監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。
- ⑧ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、又は監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。
- ⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に試験場本部に申し出てください。
- ⑩ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われる場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が次の試験時間の開始後20分を経過した場合は、当該試験の受験も認めません。
- ⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。
- ⑫ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用することはできません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

## 8. 合格者発表

次の日時に、合格者の受験番号を本学ホームページ（巻末問合せ先参照）に掲載します。なお、個別の試験結果の照会には応じられません。

第1次選考	令和8年10月21日（水）16時（予定）
最終選考	令和8年11月18日（水）16時（予定）

※ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜（前期日程・後期日程）及び学校推薦型選抜に出願ができます。

## 9. 入学手続

- (1) 合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。期日までに入学手続を行わなかった場合は、入学を辞退したものと取り扱います。  
なお、入学手続に必要な書類については、郵送及び電子メールの送付により通知します。

入学手続期間	令和8年11月19日（木）から令和8年11月25日（水）（17時必着）まで
--------	---------------------------------------

〔入学手続きに関するお問い合わせ先：学務課 学務企画係〕

TEL：075-724-7133

e-mail：gakumu@jim.kit.ac.jp

- (2) 原則として、ダビンチ入試（総合型選抜）の合格者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別の事情により入学を辞退する場合は、あらかじめ入試課学部入試係（巻末問合せ先参照）に連絡の上、「入学辞退届」を令和9年2月17日（水）（17時必着）までに本学学長宛に作成し、巻末書類提出先に提出してください。
- (3) 本学に入学手続を行ったときは、令和9年2月17日（水）までに入学を辞退した場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）を受験しても合格者となりません。

## 10. 入学に要する諸経費

### (1) 入学料及び授業料

① 入学料

282,000円

② 授業料

267,900円（半期） 535,800円（年額）

※1. 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。

2. 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

3. 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の2期に区分して行います。納入月は、前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の2分の1に相当する額です。

4. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

### (2) 学生教育研究災害傷害保険料及び付帯賠償責任保険料

4年間の保険料 4,660円（予定）

※ 1. その他、必要に応じて納入する諸経費があります。

2. 納入方法等の詳細については、入学手続きと併せて案内します。

3. 令和9年3月31日（水）17時までに入学を辞退した場合、入学料以外は返還します。返還の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。

## 11. ダビンチ カレッジ・レディネス プログラム（入学前教育）

ダビンチ入試の合格者が入学手続をしてから入学までの約4ヶ月間、高校生から大学生に向けた、高大トランジションプログラムを用意しています。高校までの基礎学力の補填だけでなく、入学後も定着して大学教育を遂行できるように、またスムーズに大学生活が送れるよう、大学生としての「カレッジ・レディネス」の醸成となるプログラムを実施しています。

## 12. 取得できる資格等

本学が特に定める教育課程を履修することによって取得することのできる資格等は、本学ホームページをご確認ください。なお、地域創生 Tech Program の学生については、資格等によっては、上位年次に配当されている科目を3年次前学期までに履修すること、3年次後学期以降も松ヶ崎キャンパスで開講される科目を受講することが必要な場合があります。

◇本学ホームページ（トップページ＞学生生活＞学修関係＞取得できる資格）

URL: [https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/capacity/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/capacity/)

## 13. 入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予

### (1) 入学料免除

「高等教育の修学支援新制度」（「授業料等減免」と「給付型奨学金」）の対象となる人は、申請に基づき選考の上、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。

令和7年度から支援が開始された多子世帯の入学料無償化についても「高等教育の修学支援新制度」に含まれます。

「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する入学料免除制度はありません。（外国人留学生を除く）

外国人留学生は、令和8年4月以降に学資負担者が死亡し、又は入学する本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたこと等により、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合は、願い出により選考のうえ、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。

「高等教育の修学支援新制度」の対象者および外国人留学生について以下の日程により、申請を受け付けます。

仮申請：入学手続時（WEB入力）

本申請：令和9年3月（予定）（WEB入力および申請書類提出）

申請方法は、最終選考の合格通知書と併せて案内する入学手続書類で確認してください。

### (2) 授業料免除

「高等教育の修学支援新制度」（「授業料等減免」と「給付型奨学金」）の対象となる人は、申請に基づき選考の上、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。

令和7年度から支援が開始された多子世帯の授業料無償化についても「高等教育の修学支援新制度」に含まれます。

「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する授業料免除制度はありません。（外国人留学生を除く）

外国人留学生は、経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる人は、学期ごとの願い出により選考のうえ、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。

令和9年度前期分授業料免除の申請方法は、「高等教育の修学支援新制度」の対象者および外国人留学生の在留資格によって次のとおり異なります。

● **令和9年度前期分の授業料免除の申請方法（外国人留学生）**

I. **在留資格が「留学」の人及び入学時まで「留学」の在留資格を取得する人のうち、次のいずれかに該当する人**

- (1) 私費外国人留学生
- (2) 出願時には国費外国人留学生であるが、入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定がある人も含まれます。）

**入学試験出願時に申請を受け付けます。出願期間後の申請は受け付けません。**申請書類は本学ホームページ ([https://www.kit.ac.jp/en/prospective\\_student/life\\_fee/](https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)) よりダウンロードしてください。

免除選考結果通知書は、入学試験の合格通知書と併せて通知します。

なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

II. **「高等教育の修学支援新制度」の対象者および上記 I 以外の在留資格の人**

入学手続後に申請を受け付けます。

申請時期：令和9年3月（予定）（WEB入力および申請書類提出）

申請方法は、最終選考の合格通知書と併せて案内する入学手続書類で確認してください。

(3) **入学料徴収猶予・授業料徴収猶予**

経済的理由により納入期限までに入学料・授業料の納入が困難である人は、願い出により選考のうえ、徴収が猶予される制度があります。

(4) **京都工芸繊維大学特待生制度**

本学独自の制度として、各年次における学業成績が特に優秀な学生に対し、2、3、4年次において授業料の半期分を全額免除する特待生制度があります。

## 14. 奨学金制度

(1) **日本学生支援機構奨学金**

学業・人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

◇本学ホームページ（トップページ > 学生生活 > 生活支援 > 奨学金 > 日本学生支援機構（JASSO）奨学金）

URL: [https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/life\\_fee/scholarship/jassoscholarship/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/scholarship/jassoscholarship/)

(2) **その他の奨学金**

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。採用数は限られますが願い出により選考のうえ、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

また、地域創生 Tech Program では、卒業後に京都府北部の地元企業への就職を希望する人を対象とする奨学金も予定されています。

◇本学ホームページ（トップページ > 学生生活 > 生活支援 > 奨学金 > 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金）

URL: [https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/life\\_fee/scholarship/minkanscholarship/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/scholarship/minkanscholarship/)

※大学から各団体へ推薦を行う奨学金については、学内の選考スケジュール上、各団体のホームページ等に掲載されている締め切りよりも早期に学内申請期限を設定していますので、**必ず上記の URL に記載の情報を確認してください。**

また、多くの奨学金は4月初旬が申請期限となります。新入生向けの奨学金に応募される場合には、入学式前後が申請期限となりますので、あらかじめ申請に必要な書類等の準備を行うとともに、申請期限を見落とすことが無いように特に注意してください。

## 15. アルバイト紹介

本学では、アルバイトを行う必要のある学生の皆さんに、入学後、京都工芸繊維大学アルバイト紹介システムによりアルバイトを紹介しています。パソコンやスマートフォンからアルバイト求人情報を閲覧できます。

◇本学ホームページ（トップページ > 学生生活 > 生活支援 > アルバイトの紹介）

URL：[https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/life\\_fee/work/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/work/)

## 16. 学習用ノートパソコンの必携について

本学の教育プログラムは、教育のDX化を推進する観点から学生がノートパソコンを利用できることを前提として実施されます。入学後は、授業等でノートパソコンを利用する機会が多くなりますので、各自でノートパソコンを準備していただくことになります。ノートパソコンの推奨仕様については、入学案内に記載しますので、必ず確認の上準備するようにしてください。

学内ではインターネットを無償で利用できます。自宅や下宿・アパート等でインターネットを利用する場合は、各自でインターネット環境を準備してください。

◇本学ホームページ（トップページ > 学生生活 > 学修関係 > ノートパソコンの必携について）

URL：[https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/notepc/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/notepc/)

## 17. 住まい

### (1) 松ヶ崎学生館

松ヶ崎学生館は、本学学生及び提携大学の留学生等の居住用施設として、松ヶ崎キャンパス西隣に設置された学生向け住居です。松ヶ崎学生館は、本学協力のもと、株式会社ジェイ・エス・ビーにより管理・運営されています。

同館への入居をご希望の方は、同社関連のUniLife 松ヶ崎北山通店（以下参照）までお問い合わせください。なお、同店舗では松ヶ崎学生館以外の住まいも取り扱っています。

◇本学ホームページ（トップページ > 学生生活 > 生活支援 > 住まい）

URL：[https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/life\\_fee/house/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/)

◇松ヶ崎学生館（Unilife ホームページ内）：<https://unilife.co.jp/view/10846/>

◇UniLife 松ヶ崎北山通店（フリーダイヤル 0120-001-242）

店舗 URL：[https://unilife.co.jp/link/univ\\_kit](https://unilife.co.jp/link/univ_kit)

### (2) その他の住まい

ワンルームマンション、アパート等の物件に関する情報は、株式会社学生情報センター京都今出川店（本学業務委託業者）にお問い合わせください。

◇本学ホームページ（トップページ > 学生生活 > 生活支援 > 住まい）

URL：[https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/life\\_fee/house/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/)

◇株式会社学生情報センター京都今出川店（フリーダイヤル 0120-356-546）

店舗 URL：<https://749.jp/school/kit/1/>

## 18. 学部・学域・課程紹介

本学では、学部・学科制にとらわれないプログラム中心の教育運営を行うために、学域、課程を設置しています。

工芸科学部及び各学域、課程の内容は本学ホームページをご確認ください。

◇本学ホームページ（トップページ > 学部・大学院・センター > 工芸科学部）

URL：[https://www.kit.ac.jp/edu\\_index/school-science-and-technology-color/](https://www.kit.ac.jp/edu_index/school-science-and-technology-color/)

## 19. 地域創生 Tech Program について

地域創生 Tech Program は、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設された学位プログラムです。

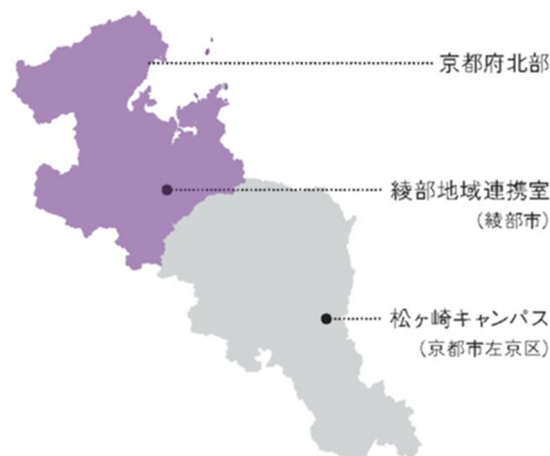
本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、**入学から 3 年次前学期までは京都市の松ヶ崎キャンパス**で開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身に付けます。

**3 年次後学期には京都府北部**を拠点として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組みます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。

※単位の修得状況によっては、京都府北部で地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップに取り組む時期が 3 年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生 Tech Program 以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。



## 20. 過去のダビンチ入試（総合型選抜）実施状況

工学部で実施した入学者選抜の実施状況を、ホームページに掲載しております。

◇本学ホームページ（トップページ > 入試情報 > 学部入試 > 過去の入試データ(倍率等)）

URL : [https://www.kit.ac.jp/test\\_index/school\\_news/past-s/](https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/past-s/)

## 令和9年度(令和8年度実施)工芸科学部1年次学生募集人員

学域	課 程	入 学 員	一般プログラム						地域創生Tech Program						
			小計	一般 選 抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校 推薦型 選 抜	特別 入 試	小計	一般 選 抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選 抜	
				前期 日 程	一般	グロー バ ル		私費 外国 人留 学 生		前期 日 程	一般	地 域	社会人		
															一般
物 応 用 域 生	応 用 生 物 学 課 程	50	48	25	7	1	15	若干名	2	若干名	1		若干名	1	
料 物 科 学 ・ 域 材	応 用 化 学 課 程	169	166	115	6	3	42	若干名	3	若干名	2		若干名	1	
設 計 工 学 域	電 子 シ ス テ ム 工 学 課 程	61	58	34	5	1	18	若干名	3	若干名	2		若干名	1	
	情 報 工 学 課 程	71	68	44	5	1	18	若干名	3	若干名	2		若干名	1	
	機 械 工 学 課 程	86	83	58	4	1	20	若干名	3	若干名	2		若干名	1	
科 学 域 デ ザ イ ン	デザイン・ 建築学課程	建 築 コ ー ス	156	92	65	15	2	10	若干名	5	若干名	3	1	若干名	1
		デ ザ イ ン コ ー ス		56	40	9	1	6	若干名	3	若干名	1	1	若干名	1
合 計		593	571	381	51	10	129	—	22	—	合わせて15		7		

注1. 一般選抜前期日程では、第1志望で地域創生Tech Programを選択した志願者は、同一課程に限り、第2志望に一般プログラムを選択することが可能です。

注2. 募集人員の取り扱いは次の通りとします。

- ①一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）と学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。
- ②一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）で募集する一般（又はグローバル）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員をグローバル（又は一般）に加えます。
- ③私費外国人留学生の募集人員（若干名）は、各課程の募集人員には含まれません。
- ④地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）では、デザイン・建築学課程を除き、一般と地域合わせて募集します。また、社会人の募集人員（若干名）は、地域創生Tech Programの各課程の募集人員に含まれます。
- ⑤地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）のデザイン・建築学課程で募集する一般（又は地域）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域（又は一般）に加えます。
- ⑥地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生Tech Programの学校推薦型選抜に含めます。  
さらに、地域創生Tech Programの学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生Tech Programの一般選抜前期日程の募集人員（若干名）に含めます。
- ⑦地域創生Tech Programの入学手続者数（一般選抜（前期日程）においては合格者数）が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

注3. ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願ができます。

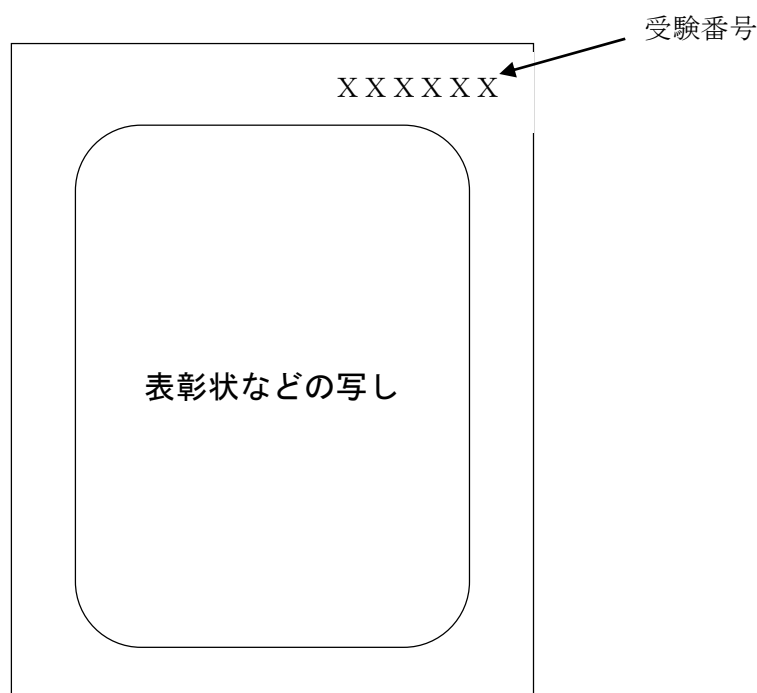
注4. 学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。

# 出願様式

- 志望理由書作成要領
- 志望理由書
- 履歴書作成要領
- 履歴書

## 志望理由書作成要領

- ・志願者自身が作成してください。
- ・Microsoft Word 等文書作成ソフトウェア又は手書きで作成してください。
- ・手書きする場合は、黒のボールペンを使用し、横書きで記入してください。欄外には記入しないでください。誤って記入した場合は、該当箇所に二重線を引き、その上に正しい文字を記入してください。訂正印は不要です。
- ・文書作成ソフトウェアを用いて作成する場合、フォントは明朝体又はゴシック体を使用し、11ポイント以上の文字サイズ、黒字（赤字等黒以外の色は使用不可）で作成してください。
- ・A4縦長で作成してください。なお、「1.」と「2.」それぞれ1ページに収まるように作成してください。余白を広げたり、狭くしたりしないでください。
- ・図や表は使用しないでください。
- ・必要に応じて、太字・斜体・下線を使用してもかまいません。
- ・「(インターネット出願システムより付番された) 受験番号」、「志願者氏名」、「志望課程・コース」欄には、入学願書と同一の内容を記入してください。
- ・「募集区分」は、出願する区分を○で囲んでください。
- ・このページ（志望理由書作成要領）は、提出する必要はありません。
- ・片面、白黒印刷してください。1ページ目と2ページ目のホッチキス留めは不要です。
- ・「1.」で記載する活動について、表彰状、資格取得証明書や発表資料等がある場合には、その写しを提出してください。なお、提出された資料は返却できません。また、A4サイズに収まるものに限り、提出に当たっては、下の図のように、資料の右上に入学願書に記載されている6桁の本学受験番号を記入してください。



受験番号					
------	--	--	--	--	--

## 京都工芸繊維大学 ダビンチ入試(総合型選抜) 志望理由書

志願者氏名	
募集区分	一般プログラム【 一般 / グローバル 】 地域創生 Tech Program【 一般 / 地域 / 社会人 】
志望課程・ コース	課程  コース (デザイン・建築学課程のみ記入)

【 】の該当の区分に  
○をして下さい

1. これまでの自分を振り返り、下記の2つの活動のうち、一生懸命取り組んだ活動に「○」をして下さい(両方でも可)。その活動について、どのような動機や目的のもと、どのように取り組み、どのような結果を得たか、具体的に記してください。


学校内での学習や課外活動など

学校外での自主的な取り組みや活動(自主学習・探求、趣味・特技などを含む)

受験番号					
------	--	--	--	--	--

2. 「1」での振り返りから現在の自分を分析し、志望する課程に関心を持った理由とともに、入学後その課程で学びたいことを具体的に記してください。

※地域創生 Tech Program の志望者は地域創生という観点を踏まえて書いてください。

## 履歴書作成要領

- 志願者自身が作成してください。
- Microsoft Word 等文書作成ソフトウェア又は手書きで作成してください。
- 手書きする場合は、黒のボールペンを使用し、横書きで記入してください。なお、記入欄がたりない場合は、適宜、本様式をコピー又はA4縦長の自由様式で作成してください。欄外には記入しないでください。誤って記入した場合は、該当箇所に二重線を引き、その上に正しい文字を記入してください。訂正印は不要です。
- 文書作成ソフトウェアを用いて作成する場合、フォントは明朝体又はゴシック体を使用し、黒字（赤字等黒以外の色は使用不可）で作成してください。記入欄がたりない場合は、適宜枠の高さを広げ、行や枠を追加してかまいません。
- A4縦長で作成してください。
- 「(インターネット出願システムより付番された) 受験番号」、「氏名」、「志望課程・コース」、「募集区分」欄には、入学願書と同一の内容を記入してください。
- 「職歴」欄は募集区分「地域創生 Tech Program 【社会人】」の出願者のみ記入してください。外国の学校出身者は提出の必要はありません。
- 西暦、和暦どちらで作成してもかまいません。
- このページ（履歴書作成要領）は、提出する必要はありません。
- 片面、白黒印刷してください。
- 複数ページにわたる場合は左上をホッチキス留めしてください。

受験番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

## 履歴書

志望課程・コース	課程 コース <small>(デザイン・建築学課程のみ記入)</small>	募集区分	
氏名			

### I. 学歴

#### 1. 初等教育(小学校)

学校名	
所在地(都道府県又は国名)	
入学年月	年 月入学
卒業年月	年 月卒業
修業年限	年

#### 2. 前期中等教育(中学校)

学校名	
所在地(都道府県又は国名)	
入学年月	年 月入学
卒業年月	年 月卒業
修業年限	年

#### 3. 後期中等教育(高等学校)

学校名	
所在地(都道府県又は国名)	
入学年月	年 月入学
卒業年月	年 月卒業
修業年限	年

#### 4. 高等教育(専修学校・大学等)

学校名	
所在地(都道府県又は国名)	
入学年月	年 月入学
卒業年月	年 月卒業
修業年限	年

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

Ⅱ. 職歴（募集区分「地域創生 Tech Program【社会人】」の出願者のみ作成・提出）

年	月	会社名・所属部署等
令和9年3月31日時点の通算の職務経歴		年 月

# 試験場（京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス）への案内

## ■京都駅からお越しの場合

京都市営地下鉄烏丸線の乗換え、「京都」駅より「国際会館」行きに乗車

## ■阪急「烏丸」駅からお越しの場合

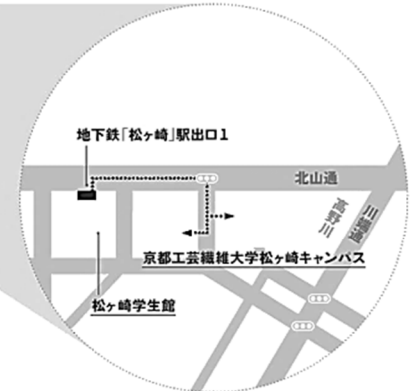
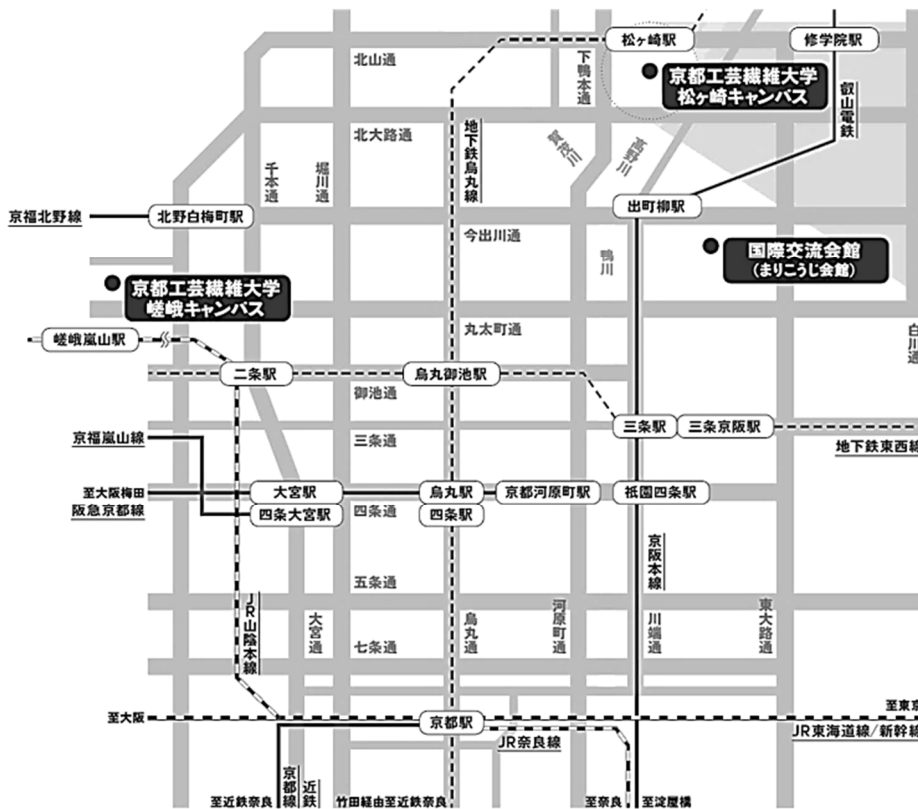
京都市営地下鉄烏丸線に乗換え、「四条」駅より「国際会館」行きに乗車

## ■京阪「三条」駅からお越しの場合

京都市営地下鉄東西線に乗換え、「三条京阪」駅より「太秦天神川」行きに乗車、  
「烏丸御池」駅で京都市営地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗換え

京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅から徒歩8分

（「出口1」から東（右）へ進み4つ目の信号を南へ180m）



- ▶ 地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅より徒歩8分。  
（出口1から東（右）へ進み4つ目の信号を南へ180m）
- ▶ 「松ヶ崎」駅へはJR・近鉄「京都」駅から地下鉄烏丸線「国際会館行き」に乗り換え約18分。  
（地下鉄烏丸線は、阪急「烏丸」駅からも乗り換え可能です。）



京都工芸繊維大学  
令和9年度 ダビンチ入試（総合型選抜）実施日程

	第1次選考	最終選考
出願期間	令和8年9月1日(火)～9月8日(火)	
試験実施日	10月3日(土)	11月7日(土)
合格発表	10月21日(水)16時(予定)	11月18日(水)16時(予定)
入学手続き期間	11月19日(木)～11月25日(水)	
追加合格	—————	—————

本学ホームページ一覧

○大学ホームページ:

<https://www.kit.ac.jp/>

(入試に関する新着情報は、トップページ下部の「Admissions」よりご確認ください。)



○学部入試最新情報ページ:

[https://ac.web.kit.ac.jp/02/school\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php)

◇本学ホームページ (トップページ>入試情報>学部入試>学部入試最新情報)



○ダビンチ入試（総合型選抜）のページ:

[https://www.kit.ac.jp/test\\_index/school\\_news/undergraduate/type\\_ao/](https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/undergraduate/type_ao/)

◇本学ホームページ

(トップページ>入試情報>学部入試>学部入試最新情報>ダビンチ入試 (総合型選抜))



発行年月 令和8年6月

問合せ先・書類提出先

京都工芸繊維大学 入試課学部入試係

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

TEL: 075-724-7164 FAX: 075-724-7160

e-mail: nyushi@kit.ac.jp

大学ホームページ: <https://www.kit.ac.jp/>

電話での問合せは、月～金（祝日及び8月12日～14日は除く）の9時～17時に受け付けます。